

| 受験方式

一般選抜	教科	満点	共通テスト							独自試験			備考
			英	国	日	世	政	数IA	数IIB	独	他	試験内容	
政治経済	3~4	200	25	25	(25)	(25)	(25)	25	(25)	100	-	日英両言語による読解問題	[共テ-数]数IAは必須、数IIBは選択

| 志願者推移 (数値は集計日時点による)

※志願者割合は各年度の志願者÷定員の値を比較 (△:増加% ▼:減少%)

一般選抜		20'定員	20'志願者	21'定員	21'志願者	志願者割合	備考
政治経済	政治	150	1,563	100	870	▼17%	
	経済	200	2,895	140	2,137	△5%	
	国際政治経済	100	1,126	60	488	▼28%	

| 入試問題分析

| 読解問題 (独自試験－国語的要素)

大問Ⅰ (国語的要素)	大問一題(全7問・選択+長文論述)、6つの図表+解説文。 出題形式は①: 解説文中の空欄補充問題(選択)/②: 解説文と図表を踏まえた最適な図表選択問題/③: 長文論述問題(200字以内)。
	政治経済科目で扱うテーマの文章が登場したため、政経選択者が有利ではある。ただし図表と解説文のみで解答は可能であるため、現代文の読解力とデータ読み取り型小論文の対策をしておけば充分対応可能。論述問題に関しては意見の独自性よりも図表に即した論理的な推測力が試されている。日頃からデータ読み取りの練習を重ねるとともに、慶應(経済・商)なども過去問演習として有効。

| 読解問題 (独自試験－政治経済的要素)

大問Ⅰ (政経的要素)	大問Ⅰについては、少子高齢化を題材とした文章と図表を読み取る形式の問題となっている。問題文中の空欄に入る文章を選択する問題や、問題文や図表から読み取れるものを選択する問題、問題文と図表を踏まえての意見を論述する問題が見られた。文章が長く図表も多いため、それらを素早く正確に読み取る読解力や情報処理能力が求められている。また、論述問題については設問の条件を踏まえて自分の意見を簡潔に表現できる力が求められている。加えて、政治、経済、社会などの諸問題について日頃から新聞やニュース等で関心・問題意識を持ち、背景知識を持つておくことが必要と思われる。
----------------	--

| 読解問題 (独自試験－英語的要素)

大問Ⅱ,Ⅲ (英語的要素)	2021年度入試より英語の出題は「総合問題」の一部となったため、英語単体で見た場合の分量は減少した。例年の長文問題と比べると、大問2題分程度の長文を読み、空所補充や内容把握問題が出題されている。英語パートの大問構成は、大問2が長文読解(40点)、大問3が自由英作文(15点)となっている。長文問題は、論旨は追いやすいが、語数が多い。そのため論旨を押さえながら読み進める読解力(や持久力など)が求められる。自由英作文は15点と配点の比率は低くない。この対策なくして合格は厳しいだろう。
------------------	---